

Today's Topic

大学生協ボランティアセンター ～第15ターム(9月14日-9月18日)活動報告・参加者の感想～

号外 25号

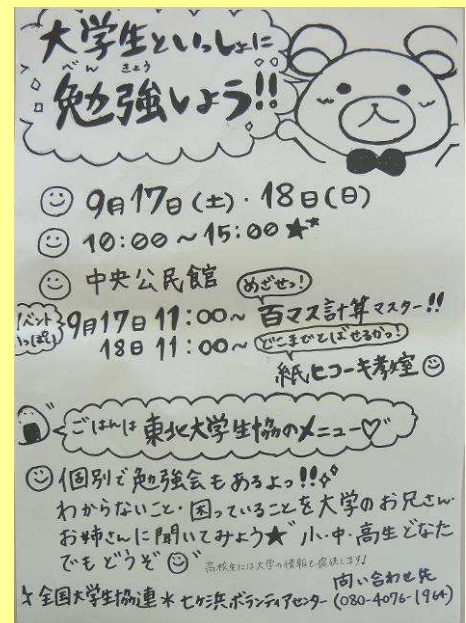
大学生協連では、夏季ボランティア活動として、8月29日(月)からGWにもお世話になった宮城県七ヶ浜町へボランティアを派遣しています。今回は、夏季ボランティア活動の最終ターム、第15ターム(9月14日-9月18日)の活動報告・参加者の感想です。

第15ターム夏季ボランティア 活動報告



9/17@七ヶ浜中央公民館 学習支援

第15タームの9月17日、18日は学習支援ボランティアを行いました。七ヶ浜周辺の仮設住宅や一般住宅にお住まいの方へ案内を行い、土日ともに約25名の小・中・高校生が来てくれました！



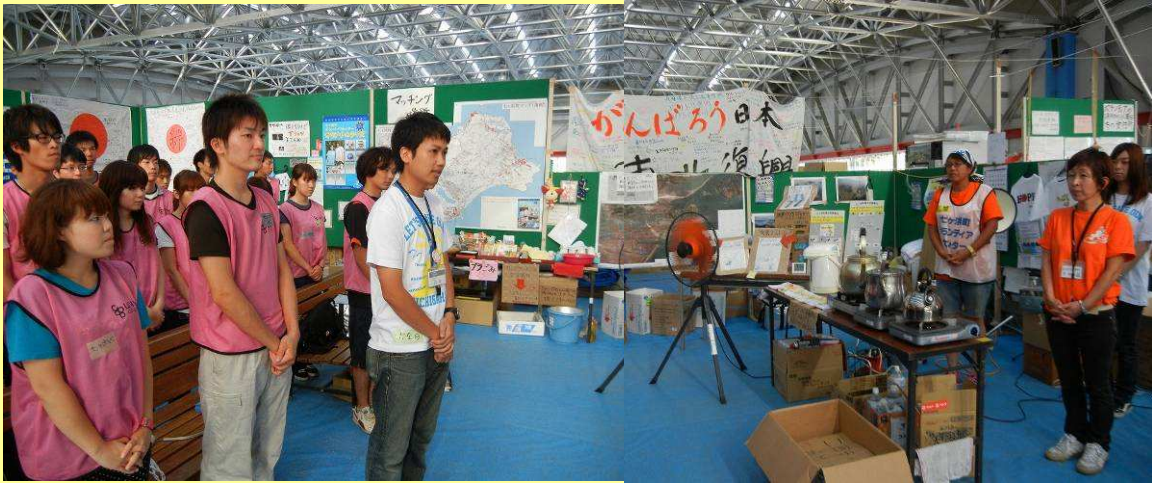
↑ 学習支援のポスター。
学生が自分達で作りました！



← 小学生への個別指導の様子

後日、学習支援に参加した高校生の保護者の方から「学習支援に参加して数学のテストの点数が上がった。本当にありがとうございました。今後も何らかの形で学習支援に来てほしい」という感謝の言葉を頂くことができました。

第15ターム夏季ボランティア 活動報告



9/18@七ヶ浜災害VC 今までお世話になったVCのみなさんへのお礼

8/29～9/18まで3週間お世話になったVC運営スタッフの方へお礼をしました。学生達のアイデアで、プレゼントとして寄せ書きをした色紙と名札を貼ったビブスを贈りました。

VC運営スタッフ代表の星さんから、「七ヶ浜のことを想い続けてほしい。大学生であるうちに、また、七ヶ浜に来てください！」と力強く言っていました。

大学生協連として、ニーズの調査を継続し、今後のボランティアを検討をしていきます。



9/18みんなの名札を貼ったビブスをVCへ



「必ず、また来ることを誓う」VC運営スタッフ、現場リーダーの方との集合写真



VCに飾られたビブスと集合写真

第15ターム参加者の感想

VCでの運営が主だったので、メディアなど報道では見えない苦悩や大変さを感じることができた。特にボランティアしたいという方の電話を断るときは心が痛むし、このような災害だからこそアクシデントに1つ1つ対応している運営スタッフの方はゆっくりする暇もなく大変だと心から思った。そんな忙しい中でも、対応する人の心配りや笑顔、あいさつで大きく印象が変わり、雰囲気は良くなる。主に電話対応、受付だったが、ボランティアされる方も気持ちよく作業ができる環境を作ることにも貢献できて嬉しかった。



A班: VC運営スタッフ
広島大学 阿部慎之介(写真左)



七ヶ浜の海沿いにある家の跡地を見たときは、3月11日の14:46分まで平和な日常を送る家族がいたとは信じられなかった。その土を掘り返していたときに、無数のガラスの破片やおもちゃ、スプーンなどが見付き、やり切れなさを感じた。終わりの感じる事のない作業だったが、大切なことは“1つずつ”“1歩ずつ”を忘れずに動くことであると思った。

D班: 個人宅・外作業班
西南学院大学 岡村純志



夏季ボランティア活動への参加・ご協力ありがとうございました!

現在までの震災関連のニュースは全国大学生協連HPへ!

What's [学情News]

全国学生委員会が会員生協に向けて発行しており、会員生協の取り組みや課題推進に関する情報を発信していきます。学生委員会情報(冊子)とあわせて、取り組みに活用してってください!

連絡先: 全国大学生生活協同組合連合会
編集者: 富川 竜生(学生委員会)
E-mail: tomikawa.rs@fc.univcoop.or.jp
Tel: 03-5307-1124 (学生委員会)
Fax: 03-5307-1180

